

令和6年度（令和5年度分）教育委員会が行う点検・評価の結果に関する報告書（概要）

1 点検・評価の目的

- 教育委員会が行う点検・評価（以下、「点検・評価」という。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「法律」という。）」に基づき、教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、区民への説明責任を果たすこととともに、効果的な教育行政の推進に資することを目的としている。

2 点検・実施方法

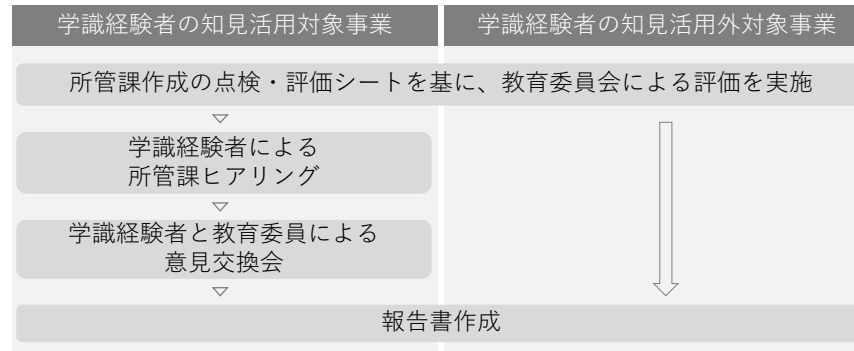
(1) 点検・評価の対象事業

- 対象事業は、いたばし学び支援プラン2025の全ての事業とし、令和5年度から令和8年度の中で、全事業の点検・評価を実施。

(2) 学識経験者の知見の活用

- 法律に基づき、点検・評価の実施に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされている。
- 板橋区では、教育委員会による評価の実施後に学識経験者の意見を聴取する機会を設け、対象事業の改善・向上にいかすことにしている。

(3) 点検・評価実施の流れ



(4) 評価評語及び方向性

- 「評価評語」は、各事業の目標に対する到達度や進捗状況を示している。また、各事業の事業手法や目標値・指標等について検討したうえで、今後の進め方を「方向性」として示している。

① 評価標語

順 調：目標に向け順調に進捗しており、
目標達成が見込める
概ね順調：目標に向け進捗しており、目標
達成が期待できる
停 滞：目標に対して進展していない
達 成：既に目標を達成している

② 方向性

- ・工夫して継続
- ・事業の転換
- ・事業手法の見直し
- ・目標値・指標の見直し
- ・事業の廃止

3 令和6年度の点検・評価

(1) 対象事業（14事業）

① 学識経験者の知見の活用対象事業（8事業）

- ・ICT環境の適切な維持と活用
- ・プログラミング教育の推進
- ・ロボットプログラミング教室の実施
- ・「もてなしの心」促進事業及びレガシー事業の推進・拡充
- ・豊かなスポーツライフの実現に向けた行動体力・防衛体力の向上
- ・「スマートフォン等を使うためのルール」リーフレットの活用
- ・板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の推進
- ・板橋区立図書館における電子図書館の推進

② 学識経験者の知見の活用対象外事業（6事業）

- ・教科等指導専門官の活用
- ・読み解く力の育成を通じた学力向上
- ・学校図書館の充実
- ・英語教育の充実
- ・キャリア・パスポートを核としたキャリア教育の充実
- ・「板橋区環境教育推進プラン2025」に基づく環境教育の推進

(2) 学識経験者

松波 紀幸氏（帝京大学教職センター兼担教育学部教授）
佐野 亮子氏（東京学芸大学非常勤講師）

4 令和6年度の点検・評価の結果

(1) 学識経験者の知見の活用対象事業

① 教育委員会評価一覧

No	事業	評価標語	方向性
1	ICT環境の適切な維持と活用	順調	工夫して継続
2	プログラミング教育の推進	概ね順調	工夫して継続
3	ロボットプログラミング教室の実施	順調	工夫して継続
4	「もてなしの心」促進事業及びレガシー事業の推進・拡充	停滞	事業手法の見直し
5	豊かなスポーツライフの実現に向けた行動体力・防衛体力の向上	概ね順調	工夫して継続
6	「スマートフォン等を使うためのルール」リーフレットの活用	概ね順調	工夫して継続
7	板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の推進	概ね順調	工夫して継続
8	板橋区立図書館における電子図書館の推進	順調	工夫して継続

② 学識経験者の主な提言

学識経験者からの所管課ヒアリングにおいて、対象事業について、意見・助言をいただいた。

○ ICT環境の整備とGIGAスクール推進支援員の貢献について、肯定的に評価いただいた。

○ 学校間での一人一台端末の活用に格差があり、その解消策や教員のモチベーション向上策が求められた。



○ 情報活用能力向上の進捗の見える化、オンデマンド教材の活用、校長のリーダーシップの重要性に触れられた。

○ プログラミング教育については、一定の経費が見込まれるロボットプログラミング教材の共有化や年間総授業時数の削減の中でB分類の充実の検討等が提案された。

○ 「もてなしの心」促進事業及びレガシー事業について、評価標語が「停滞」になっているが、学校の事情に合わせた取組が確認でき、肯定的に評価いただいた。

○ 板橋区コミュニティ・スクールについては、CS委員会と学校支援地域本部の役割と目的の明確化や、校長に対する研修機会の必要性、適切な熟議テーマの設定、報酬の見直しについて助言いただいた。

○ 電子図書館については、子ども向けの電子書籍の充実や電子図書館の認知度向上の必要性、電子図書を活用した授業実践への期待について意見をいただいた。

③ 学識経験者と教育委員の意見交換会

対象事業について、今後の施策・事業の取組に関連した知見を教育委員会全体で深めた。

○ ICT環境について、ICTは目的ではなく手段として使われるべきことや、教員の共感やパッションを刺激する教材づくりの重要性、ICT活用による業務効率化、授業や研修、部活動への動画の活用等について意見が出た。

○ オリンピック・パラリンピックのレガシー事業について、パラスポーツ学習の教育的意義や、新たなレガシーとしてアスリートの功績を教育教材に活用すること、学校の日常における食育の意識の向上や校内トレーニングルームの設置といった行動体力・防衛体力の取組等について、意見交換がなされた。

○ 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）について、運営上の問題点について触れ、成功している学校は、子ども中心に考え、新たな地域人材の取り入れていることや、委員長の任期設定の再考や任命時期の見直し等について議論された。



(2) 学識経験者知見の活用外事業

教育委員会評価一覧

No	事業	評価標語	方向性
1	教科等指導専門官の活用	順調	工夫して継続
2	読み解く力の育成を通じた学力向上	概ね順調	工夫して継続
3	学校図書館の充実	概ね順調	工夫して継続
4	英語教育の充実	概ね順調	工夫して継続
5	キャリア・パスポートを核としたキャリア教育の充実	概ね順調	工夫して継続
6	「板橋区環境教育推進プラン2025」に基づく環境教育の推進	概ね順調	工夫して継続

5 公表

ホームページで公表。広報紙「教育の板橋」や板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム等で情報発信。